

# 福岡県、熊本県でランピースキン病発生

## 【発生状況】

- 2024年11月6日 福岡県の2農場（乳用）で国内初の発生
- 11月9日 同県の発生農場から移動していた牛が飼養されていた熊本県の1農場（乳用）で発生
- 11月10日 福岡県の1農場（乳用・肉用）で新たに発生

- ☆ 本病は発症した牛の早期発見、隔離、移動の自粛、国の備蓄ワクチン接種等の総合的な防疫対策が必要です。
- ☆ 牛を定期的に観察し、全身の皮膚の結節や水腫、発熱、乳量の低下等の本病を疑う症状がみられた場合は、当該牛を速やかに隔離し、家畜保健衛生所に連絡してください。

## ランピースキン病を疑う症状

- 発熱、鼻汁
- 皮膚の結節
- 泌乳量の低下
- リンパ節の腫大



### 特徴的な皮膚病変

皮膚は、最初は硬くわずかに盛り上がり、直径1～8cmの結節に発展。その後、特徴的な逆円錐状の壊死巣を形成し、皮膚に穴を残して脱落。二次的な細菌感染を起こすことがあります。

**【感染要因】** 皮膚病変、唾液、鼻汁、乳汁、精液等にウイルス排出  
感染した牛の移動、吸血昆虫による機械的伝播

- 【発生予防】**
- ①他の農場から飼養器具を持ち込まない
  - ②平時からの吸血昆虫駆除
  - ③注射針・人工授精器具など体液付着物品は1頭ごとに交換または消毒（エタノール、次亜塩素酸ナトリウム、逆性石鹼などの一般的な消毒薬が有効）

滋賀県家畜保健衛生所  
近江八幡市西本郷町226-1  
TEL:0748-37-7511  
FAX:0748-37-4821  
緊急携帯:090-3613-7486

北西部支所  
高島市今津町弘川249-1  
TEL:0740-22-2145  
FAX:0740-22-6681  
緊急携帯:080-6176-8052